

令和8年度が始まって10日あまりが経ちました。皆さん、いいスタートが切れましたか。今年度の図書館通信は、「先生方からのオススメの本」や新着図書の紹介、「各学級の貸出し冊数の報告」などを中心に学校のホームページから皆さんにお届けしたいと思います。ということで、個人への紙媒体での配布はありませんが、学級掲示はしますので、ぜひ見てくださいね。

～先生からのオススメの本～

『おそろし 三島屋変調百物語事始』 宮部みゆき【著】 研修図書課 梶原しおり



『模倣犯』や『ソロモンの偽証』など、圧巻の筆致で数々の名作を生み出している宮部みゆきの「ホラー時代小説」です。複数の幽霊が登場し、その死の事情が徐々に明らかになっていく中で、江戸で生きる人々が抱える恨み、悲しみ、狂気が語られます。連作短編小説の形態なので、読みやすく、朝読や隙間時間の読み物にお薦めです。「三島屋変調百物語」はシリーズ化されており、現在10作品あります。はまりますよ。ぜひ読んでみてください。

(※ この本は、5月に購入する予定です。)

今月の新着図書(全巻、入荷しています。)

- 『不夜脳 脳がほしがる本当の休息』 東島威史【著】
- 『新版 日本語の作文技術』 本多勝一【著】
- 『新・教場2』 長岡弘樹【著】
- 『ほどなく、お別れです』～遠くの空へ～ ～思い出の箱～ 長月天音【著】
- 『生きとるわ』 又吉直樹【著】
- 『頭がよくなる超いじわるまちがいさがし』 篠原菊紀【著】
- 『殺人事件に巻き込まれて走っている場合ではないメロス』 五条紀夫【著】
- 『私たちの世代は』 瀬尾まいこ【著】
- 『和のなるほど図鑑』 みつけ【著】

今年の(図書館での)貸出し目標は、**6冊**。そして全体(学校と家)の読書目標は、**15冊**です。目標達成に向けて、頑張りましょう！(今年度も、各クラスの貸出し冊数を教室の背面に掲示し、各学年で、一番たくさん本を借りているクラスには、金賞シールを、次のクラスに銀賞シールを貼ります。)

今「図書館で購入してほしい本」の募集をしています。詳しくは図書委員に聞いてください。

(締め切りは、4月28日(火)です。)